



2024年4月5日
京都鉄道博物館

神戸～大阪鉄道開業 150 周年記念展 「関西鉄道時間旅行 ―近場旅の魅力再発見―



2024年5月11日で神戸～大阪間鉄道開業 150 周年を迎えます。

これを記念し、関西地方における観光や旅行をテーマとし、神戸・大阪を中心とした関西地方の鉄道の発達についてご紹介します。

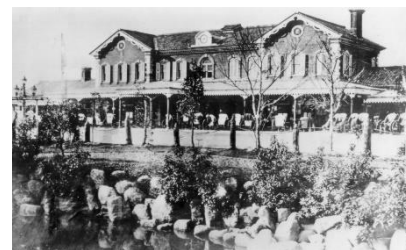
開催期間 5月18日(土)～7月7日(日)
開催場所 本館2F 企画展示室

[展示内容は次ページより！](#)

I. 文明開化！神戸～大阪で鉄道開業！！ 一開業から約20年で何が起こった！？

様々な西欧文化が取り入れられた明治期、日本に鉄道が登場しました。
本コーナーでは、関西での鉄道誕生から、全国へ鉄道網が拡大していく
までを当時の写真や錦絵でご紹介します。

【展示予定資料】 初代大阪駅の写真(明治期)、初代神戸駅の写真(明治期)
錦絵「神戸蒸気車之図」(1874(明治7)年頃) ほか



▲初代大阪駅の写真(明治期)

II. モダン化！生活様式や食文化が変わって・・・！！ 一知ってるあれこれ、続々登場！！

年号が明治から大正、昭和に変わり、都市ではモダン化が進み、鉄道も
長距離運行から、近距離を結ぶ電車による運転も始まり発展します。関西
各地でも私鉄が開業し、人々の暮らしに鉄道が入り込んだ時代を、当館が
所蔵する絵はがきや、観光パンフレットなどをご紹介します。

【展示予定資料】 絵はがき「(大阪名所)道頓堀」(昭和初期)
絵はがき「(有馬鉄道)有馬駅」(大正中期)
ポスター「秋は温泉へ別府と道後紀州の温泉」
(1927(昭和2)年頃) ほか



▲絵はがき「(大阪名所)道頓堀」
(昭和初期)

III. 近代化！高度経済成長期&万博フィーバー！！ 「ご趣味は？」「旅です！」

戦時中に大打撃を受けた鉄道は、戦後、暮らしを支える役割を担いま
す。関西でも特急や急行の登場、線路の高架化・複線化や電化が進み、
みどりの窓口など旅客営業も急速に充実しました。レジャーとして“旅
行”が浸透していった時代を模型やパンフレット・ポスターなどでご紹
介します。

【展示予定資料】 記念入場券「山陽路再発見シリーズ」(1977(昭和52)年)
ポスター「湖の風が秋をはこんでくるびわ湖めぐりエッ
ク」(昭和40年代後半) ほか



▲記念入場券
「山陽路再発見シリーズ」
(1977(昭和52)年)

IV. 手軽化！わたしたちの列車旅！！ 一便利・楽しい・あえてゆっくり

1980年代、関西の私鉄では改札機の自動化がほぼ完了し、神戸では日本
最初の新交通システムが登場します。JRが発足した後は、アーバンネット
ワークが形成され、各地を特急が結び、関西圏+αの場所なら日帰り旅行
は当たり前になりました。また、あえて「鉄道」を楽しむ旅も定着してき
た昨今の様子を様々な資料でご紹介します。

【展示予定資料】 パンフレット「JOYFUL TRAIN」(1987(昭和62)年頃)
ヘッドマーク「急行アルペン」(昭和後期) ほか



▲パンフレット
「JOYFUL TRAIN」
(1987(昭和62)年頃)

図録も販売予定！詳細は決まり次第、おしらせします。

